

講習会・勉強会活動報告

テーマ：「患者さん・他職種に対するコミュニケーションについて」

講 師：久留米大学文学部 社会福祉学科

准教授 片岡靖子先生

日 時：平成 24 年 11 月 30 日 18：00～19：30

内 容：1. 講義

2. グループワーク

参加人数：約 100 名（PT OT ST Ns SW 他）

今回は私たちが働く中で欠かせない「コミュニケーション」について、ストレングスアプローチとリフレーミングという手法をご講義いただきました。



まず、ストレングスアプローチとは「クライアントの弱点や問題点に視点をあて、その不足や欠点を補うような従来の病理モデルとは異なり、クライアントの本来有する潜在能力や強さ等（ストレングス）に焦点をあてて、協同的な関係の中で問題を解決していく」視点をを用いてアプローチします。このようなストレングスは①性質・性格、②技能・才能、③環境、④関心・願望の 4 種類があり、今回の講習会では実際に自分や同じグループの方の

ストレングスを探す作業を行いました。

次にリフレーミングとは「物事を見たり考えたりするときの枠組み（フレーム）を変える方法。」で、ものの見方、考え方が変わってくるだけで、そこから出てくる行動も変わってくると共に、人や組織、地域の問題を解決することにも繋げることができるということでした。このリフレーミングも実際にグループ内での作業をとおして学ぶことができました。



今回の講習会では、私たちの日常生活の中でつい陥ってしまうネガティブな思考をポジティブに転換させてくれる方法を教えていただきました。今回学んだ方法は、患者さんや他職種だけでなく、家族や友人など身近な人にも有効に活かせると思いました。

片岡先生には年末のとてもお忙しい時期にお越し頂き本当にありがとうございました。

（文責 教育主任 山出宏一）